

令和4年度

いしと

北本市立石戸小学校

棚田稲作体験



特色

- 埼玉県みどりのトラスト8号地「高尾宮岡の景観地」内の棚田で、里山保存会の方々の御指導をいただきながら例年5年生が代かき、田植え、稲刈りを体験し、米作りに取り組んでいる。今年度は、新型コロナウイルス感染防止を図りながら田植えと稲刈りを行った。
- 棚田で収穫したお米は、学校に届けられ調理実習や学校給食に利用した。また、5年生が里山保存会方々へお礼の手紙を書いた。

児童の感想

- 田植えや稲刈りを体験し、田んぼにじかに入って田植えをする大変さや、鎌を使っの稲刈りの難しさを知った。お米を作る手間を学ぶことができ貴重な体験ができた。田んぼを管理してくださる方へ感謝の気持ちを持ち、お米をいただく。

成果

- 児童は、米作りの学習や体験を通して、社会科や総合的な学習の時間で学習する米作りを中心とした農業についての理解をより深めることができた。
- 児童は、多くの地域の方々とふれあうことにより、目上の人に対する礼儀を身に付けるよい機会の一つになっている。また、身近な自然を守ろうとする意識の高まりも見られた。